

確かな学力を育む取組

5月に実施した、杉並区特定の課題に対する調査等の結果、本学園の平均正答率は区平均をやや下回る傾向があることがわかりました。そこで学園では、学習内容をより定着させるために、学び残しやつまずきを減らすための個別学習を充実させたり、協働学習を推進したりするなど、授業改善に取り組んでいます。

また、確かな学力をより一層定着させることができるように放課後学習や家庭学習の見直しも図っていきます。特に2年生では、国語・算数の学習において、以下の力を付けることを目指しています。

《国語》

話す力・聞く力

- ① 身近なことや経験したことを順序よく話したり、相手の発言を受けて話をつないだりする力
- ② 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容をとらえる力

授業改善のポイント

- 朝の会のスピーチで順序よく話したり、話の内容を受けて質問したりします。
- 説明し合ったり、意見を交換したりするなど、少人数で話し合う活動をしていきます。

読む力

- ① 事柄の順序や場面の様子、登場人物など、内容の大体を捉える力。
- ② 文章を読んで、大事な言葉や文を見つける力。
- ③ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ力。

授業改善のポイント

- 全体読み、「。」読みなど声に出して読む活動を充実させます。
- 文章にサイドラインをひいたり、大事な言葉に印をつけたりします。
- 物語や説明文を読み、感想をもつ時間を多く取り入れます。

書く力

- ① これまでに学習したかたかなや漢字を正確に書く力。
- ② 語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書く力。
- ③ 書きたい内容を分かりやすく書く力。

授業改善のポイント

- 書いた文章は一度読み直すように指導します。
- 文章の内容を考える力を伸ばすために、「はじめ・中・おわり」の構成を意識して文章を書く活動をしていきます。
- よい文章を読むことはよい文章を書くことにつながります。音読とともに、友達の文章を読む機会も設定します。
- 作文や日記などは、時系列で出来事だけを書くのではなく、伝えたいことをしぼって、それについて詳しく書くように指導します。

《算数》

測定する力

- ① 水のかさ、長さ、時刻と時間などについて、目的に応じた単位で量の大きさを表現する力

授業改善のポイント

- ・繰り返し反復学習ができるようにプリント学習や宿題を出します。
- ・身の回りのものがだいたいどれくらいの量がイメージできる活動を充実させます。

計算する力

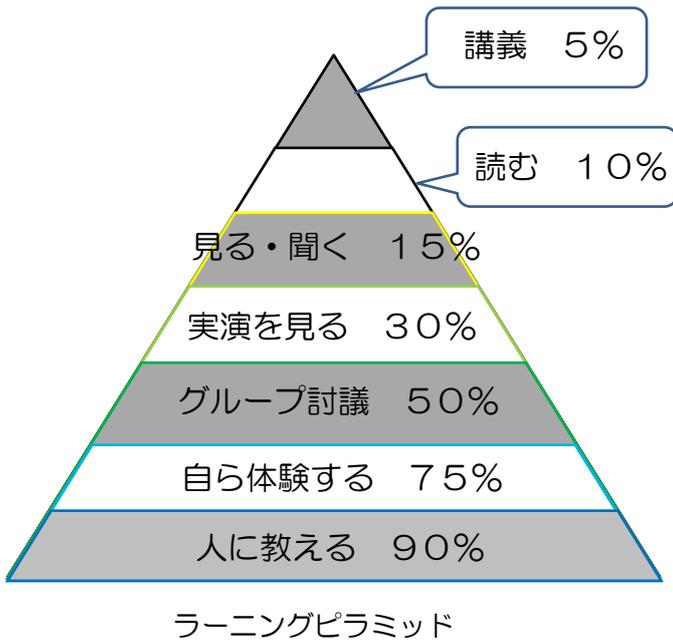
- ① くり上がりのあるたし算、くり下がりのあるひき算を正確に計算する力
- ② かけ算九九を確実に覚えること
- ③ 文章を読んで式を立てる力

授業改善のポイント

- ・ドリルやプリントなどを使って繰り返し学習していきます。
- ・かけ算九九カードや暗唱テストを通して、定着を図ります。
- ・文章を図にしたり、キーワードに着目させたりすることで、式のイメージを確立します。

そのほかにも、ただ求められた答えを出すのではなく、「どのように考えたのか」という考えの道筋を大切にしながら、学習を進めています。このことによって、思考力や表現力が養われます。また、自分の考えをもったり、友達の考えを聞く時間を大切にすることはもちろん、ふりかえりの時間を充実させることで、その日に何を学習したのか意識させ、学びに向かう姿勢を育てます。

ご家庭でお願いしたいこと



これは、学びの定着具合をしめした図です。この図によると、話を聞いただけ（講義）では、内容の5%しか定着しません。最も定着するのが、「人に教える」90%です。

そこで、ぜひ学校での出来事を聞く際に、その日の学習内容についても話を聞いてあげる時間を作ってください。

大人が知っていて当然の内容も初めて聞いたかのように驚いて聞いてあげることが大切です。子供を「先生」にしてあげてください。

初めのうちはお子さんが内容をしっかり話せる必要はありません。保護者の方が「それで？それで？」と聞き返したり、「そうなんだ！すごいね！」と共感したり、ほめてくれたりすることで学ぶ意欲が高まります。それだけでなく、「次はもっとお家に人に教えてあげよう。」という気持ち持ちは授業に向かう姿勢につながります。

毎日の宿題

音読・・・漢字や文章のつながりを正しく読めているか聞いてあげてください。

読んだ後には、感想を伝え合ったり質問をして、内容を理解しているか確かめてください。

漢字ばっちりノート・・・「とめ、はね、はらい」に注意して、正確に書けているかお子さんと一緒に確認してください。

書き順や鉛筆の持ち方も重要です。

計算ばっちりノート・・・毎回丸つけをしていただき、ありがとうございます。

間違った問題はそのまま直しをすることが重要です。

筆算の際には、必ず定規で線を引いているか確認してください。

かけ算九九カード・・・毎日九九の暗唱を聞いていただき、ありがとうございます。
とにかく繰り返し声に出して覚えることが大切です。お風呂の中などで暗唱するのも楽しいですね。

2年生の家庭学習

子供の実際に応じて、何をさせる必要があるのかを一緒に考えてアドバイスしてください。
例えば・・・授業で学習したことの復習や、自分の課題を克服するための学習
興味や関心のあることを追求する学習

《国語》

○進出漢字で言葉づくり・・・漢字を正しく「使う」ことができるようになります。
新しい語彙を増やすことにつながります。

○読書・・・読んだ後に感想を話し合えるとさらに力が伸びます。
初めて聞く言葉や意味を知りたがった言葉があれば教えてあげてください。語彙が増えます。

《算数》

○10の補数・・・「9と1で10」「8と2で10」「7と3で10」のように、合わせると10になる
組合せを「10の補数」と言います。
「4と？」と質問してお子さんに「6！」と答えさせるなど、やり取りをしながら楽しむ
ことができます。

○時こくと時間・・・日常的に午前、午後を使って時計を読んだり、「あと20分で何時になるね」といった
会話をするだけでも定着が図れます。

○九九カード遊び（教科書下p20）

カルタあそび

1

答えのカードをとりましょう。



同じ答えの式が複数あることに気付かせます。
これは、5年生で学習する「倍数、約数、公倍数、公約数」の学習につながっていく
力です。

大きいほうが勝ち

2

同時にカードを出して、答えの大きいほうが
勝ちです。



どんなカードが勝ちやすいが考えることで、
「かける数」「かけられる数」の関係の理解を
深めます。